

たいよう新聞

475号

8月10日発行

2025年

安全大会レポート

第2弾

特別講話や安全宣言を通じて、参加者一人ひとりが
無事故・無災害への決意を新たにした1日の記録をご覧ください。

建築本部



係長

Tさん

開催日: 2025年6月10日(火)

場 所: 愛知産業労働センター「ウイंकあいち」1103号室

内 容: 社長挨拶、絆栄会(はんえいかい)会長挨拶、安全表彰、絆栄会会長特別表彰、安全宣言・特別講話・謝辞

協力会社様と共に、 安全意識を新たにした一日

絆栄会の設立総会を開会し、その後、安全大会へと移行しました。協力会社66社のうち63社にご出席いただけるなど、皆様の高い関心が伺えます。安全大会では社長挨拶、絆栄会会長挨拶に続き、安全表彰、安全宣言と、身の引き締まるプログラムが進行。また、特別講師として元中日ドラゴンズの野球解説者、ヒデノリ(蔵本英智)様をお招きし、「アスリートの健康管理法、リスク管理について」というテーマで、貴重なご講話を拝聴しました。



▲ヒデノリ様

総括

今後の無事故・無災害への力強い決意

建築本部として初めての開催で至らない点もあったかと存じますが、参加された皆様からは温かいお言葉をいただき、無事に終わられて安堵しております。特に、ヒデノリ様のお話は興味深く、全員が熱心に耳を傾けており、安全への意識を新たにすると大変有意義な時間となりました。来年以降も安全大会を継続し、絆栄会と共に当社と協力会社の皆様が一丸となって、無事故・無災害で現場を進めていく決意です。



▲加藤社長挨拶



閉会の辞
Y安全部長▶

静岡支店



環境開発部
主任

Aさん

今後の業界の変化に応じるためには、順応力と工夫が必要

当社の社員が7名、協力会社や関係会社の方々29名に参加いただきました。受付を済ませた方から、昨年から始めた取り組みである野菜摂取量がわかる「ベジチェック」や、血管年齢が測定できる機械を体験していただきました。今回特に心に残ったのは、「多様な仲間と 築く安全 未来の職場」というスローガンです。建設業界は今、労働人口の減少に直面し、外国人労働者の方や女性、他業種からの転職者など、多様な人材の活躍が不可欠です。言語や経験の違いを超え、誰もが安全に働ける職場をどう築くか。ピクトグラムの活用や丁寧な指導、密なコミュニケーションの重要性を再認識いたしました。



開催日: 2025年6月13日(金)

場所: 静岡商工会議所

内容: 安全宣言社長メッセージの代読、駿洋会(しゅんようかい)会長挨拶、安全講座、令和6年度災害報告、安全教育、安全表彰

総括

関係者の皆様との絆を深められた1日

静岡支店では昨年度の労働災害ゼロを達成できましたが、この結果に甘んじることなく、改めて安全への意識を強固にすることができ、大変意義深いものとなりました。また、協力会社の皆様と直接顔を合わせる貴重な機会ともなりました。京都や滋賀など遠方からお越しの方もおり、直接対話できる重要性を実感。懇親会でも相互理解を深めることができました。ご参加いただいた皆様に深く感謝申し上げます。



▲安全宣言



◀開会の辞 K支店長

▲安全表彰

大阪支店



工事部

Kさん

大阪IRに当社の技術が貢献

多くの方々の挨拶の中で、熱中症に関する言及があり、より一層危機感を持って対応していこうと改めて決意しました。その他、現在大阪支店が関わっている大阪IR事業の工事で使うTRD施工機械が、大阪・関西万博の大屋根リングから見えるという話が紹介されました。私自身も訪れた際にはぜひ見てみたいと思います。



▲安全表彰

開催日: 2025年6月19日(木)

場所: 高槻市商工会議所 4階大ホール

内容: 開会宣言(工事部長)、太友会(たいゆうかい)会長挨拶、取締役支店長挨拶、専務取締役挨拶、安全表彰、会社表彰、個人表彰、社員表彰、特別講話、安全の誓い、閉会の辞

総括

「慣れ」が招く危険に要注意

「業務に慣れることでリスクを甘く見てしまい、安全意識が低下しないようにしなければならない」という点が特に印象に残りました。例えば、重機の横を通る必要がある場合、初めて現場に入った際には動いている重機の横は怖くて通れません。しかし、慣れると重機の旋回範囲がわかるため、「ここは歩いて大丈夫だろう」と考え、安全意識が低下してしまうといった危険性が生じます。全国安全週間のスローガンに込められた「自分の身を守る」と「職場の仲間との安全を考慮すること」の重要性を再認識し、実践していきたいと考えています。



最前線レポート

都市計画事業

鷺川第2排水区雨水管渠築造工事(2期工事)

太洋基礎工業が担当したさまざまな現場を紹介するこの企画。今回は冠水対策工事を担った九州支店工事部のIさんに、プロジェクトの概要から困難を乗り越えたエピソード、思わず目を奪われた驚きの体験を語っていただきました。

九州支店 工事部

Iさん



現場概要

契約期間	2025年3月3日～2025年8月29日 (都市計画事業全体:2027年1月29日まで)
場所	熊本県熊本市東区花立6丁目
発注者	熊本上下水道局
元請	浅沼組JV
一次下請	太洋基礎工業株式会社
現場体制	浅沼組JV5名、太洋基礎工業3名、 他3名
施工目的	周辺地域の大雨洪水による冠水対策



現場の特徴



冠水対策工事、問題なくスムーズに進行！

現場は、九州自動車道。熊本空港インター近くで、幹線道路を横断する雨水管渠築造工事でした。前回の1期工事から携わり、大きなトラブルなく無事やり遂げることができました。発進立坑はとても広がったのですが、到達立坑は狭かったため、推進機を回収する際にどう分割していくか、一気にまとめて上げられないのかを考えました。

苦労した点と乗り越え方



熱中症対策を徹底

熱中症対策として、常に送風機や扇風機を稼働させていました。またありがたいことに、浅沼組JVの方からスポーツドリンクや塩分タブレットを支給していただき、体調不良者を出すことなく、暑さを乗り切ることができました。

施工完了に向けて

最後までしっかりやり遂げる

支圧壁の切り撤去作業や発注者立ち会いの検査が控えているため、引き続き無事故・無災害を意識して頑張りたいと思います。



印象深かった出来事

到達立坑において、薬液注入工事を行ったときの事です。後ろから悲鳴が聞こえたため振り返ると、1期工事の所長が下水道のマンホールを開けていました。そこには、黒光りする大量のゴキブリが……。目の前にラーメン屋と焼肉屋があったため、たくさん集まっていたのでしょう。所長は下水掃除をするために、ゴキブリの大群の中に入っていったそうです……。

声援

仕事をやり遂げる経験が「挫折しないマインド」を育てる

私は困難なことを目の前にすると「絶対にやってやろう」と、モチベーションが上がります。土木業界の現場ではトラブルは日常茶飯事。これまで、私1人ではできないことも、周りの人の力を借りてやり遂げてきました。やり切った経験が自信やスキルに繋がることに気づいたため、常に念頭において業務に取り組んでいます。私がこうした考えを持てるようになったのは、入社当時に会った、先生のような存在である先輩たちからの影響が大きいと思います。おかげで、ミスをして指摘を受けても「次は褒められてやる!」という前向きな気持ちに、少しずつ切り替えられるようになりました。

全拠点の皆さんの力になりたい

8月1日から技術本部に異動したため、今はそこでやる仕事に関心があります。技術本部の部長は、全体管理だけではなく、いろいろな方から声がかかったり、相談をされたりするポジション。また、全国の支店・営業所から寄せられる困りごとの依頼をフォローする役割も担います。今までとは違った分野での仕事であり、皆さんにご迷惑をおかけするかもしれませんが、皆さんの助けになるように尽力していきたいと思っています。



技術本部
部長

Nさん

👑 月間MVP賞 👑



名古屋支店 工事部係長

Nさん

推薦理由

一宮市上下水道部発注の本町通8丁目地内ほか雨水管布設工事において、優秀な品質と安全成績を収めて現在も施工中です(残りわずか)。2025年7月4日、本工事の元請である大興建設株式会社様の安全大会にて、安全の個人表彰を受賞。また同日、協力会社の安全表彰も受賞されました。

(推薦者 名古屋支店長 Wさん)

※月間MVP賞は当社社員だけではなく、協力会社の皆さまも表彰の対象となっています。自薦、他薦は問いません。多くの受賞者が出ることを期待しています。

教える側も

教わる側も

ちょっとした意識で理解が変わる!

教え方・教わり方のひと工夫

教えること、教えてもらうこと、お互いになかなか難しい……。そこでちょっとしたコツをご紹介します!

教える側の皆さんへ

ゴールをはっきりさせる3つのポイント

- 1 具体的に話しましょう (「コレ、やっておいて!」はNG。コレ=○○、やって=●●、と具体的に!)
- 2 「できそうだな」と思うように伝えましょう
- 3 期限を決めましょう

教わる側の皆さんへ

教えられたことをしっかり理解するためのポイント

- 1 わからないことは必ず質問しましょう

CHECK!

5Wと
3H

Why = なぜ? (ねらいは何?なぜそうする?)

What = なに? (何をする?目的や目標は何?)

When = いつ? (期限、約束の時間はいつ?)

Who = だれ? (だれが担当?お客様はだれ?)

Where = どこ? (場所はどこ?どこに置く?)

How = どのように? (どのような方法、仕上げ方?)

How much = いくら? (費用は?)

How many = いくつ? (数や量は?)

- 2 わかったか確認しましょう